

## ●● 時代

狩り(鹿、イノシシ)・魚貝・木の実(どんぐり) 採集  
争いのない**平和な世界**

人々は**むら**をつくり  
土偶を作って美りを祈った。  
竪穴式住居に住んだ。



## ●● 時代

稲作が大陸から伝わる。  
高床倉庫に米

貧富の差が生まれ、  
奪い合い、争いはじまる  
鉄器を武器、工具として使用。



## ●● から ●● ●● へ

戦いにつぐ戦い

むらはむらに従え**くに**に発展

倭は**百余国に分かれて**いた。  
(漢書地理志)

女王**卑弥呼**が30余りの国々を従えていた。(魏志倭人伝)



the flow of history

## ●● 政権

奈良県の大和地方を中心に勢力を持っていた。

リーダーを**大王**と言い、  
現在の天皇家の祖先と言われている。

ここで作られた**前方後円墳**は  
鹿児島から岩手県まで広がった。



the flow of history

## ●●、●● ●● が伝わる。

渡来人は、用水路や古墳をつくる土木技術、鉄をつくる鍛冶、土器や機織りの技術を伝えた。

**漢字**が伝えられ、ここから日本の歴史の「文字による記録」をすることが可能となった。6世紀のなかごろには、百済の王から**仏教**も伝えられ、国をまとめるための大きな力となっていた。

the flow of history

## ●● ●● ●● ●● が摂政に

**冠位十二階** 家柄にとらわれない能力主義。  
豪族中心政治の打破。

**十七条の憲法** 仏教や儒教の教えをもとに  
役人としての心構えを説いた。

**遣隋使**

中国の進んだ文化を取り入れようと  
小野妹子らを派遣。



the flow of history

## ●● ●● 氏が権力を握る。

聖徳太子の死後、天皇をしのぐ力を持っていて政治を思う  
ままに動かしたと言われている。



蘇我入鹿

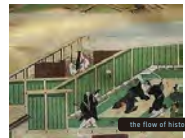
the flow of history

## ●● ●● ●● ●●

**中大兄皇子・中臣鎌足が  
蘇我氏を倒す。**

改新の詔を出し、中大兄皇子は  
天智天皇に即位した。

**公地公民**を目指す  
豪族が支配していた人民を  
直接国家が支配しようとした。



the flow of history

## ●● ●● の乱

天智天皇没後の後継争い。  
天武天皇(天智天皇の弟)が天智皇子(天智天皇の息子)を倒す。  
天武天皇はこの勝利で天皇の権威を高め、改革を一気に進めた。

公地公民をすすめる、貨幣(富本銭)の鑄造、  
新しい身分制度(八色の姓)を定め、  
法律の制定と歴史書のまとめに着手した。



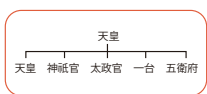
the flow of history

## ●● ●● ●● ●● が完成。

文武天皇の時代、藤原不比等らによって完成した、  
日本の「法律」のはじまり。  
これにより中央集権国家が誕生。

**班田収授法**

6歳以上の男女に口分田  
を与え、税を集める仕組み  
が本格的に成立。



the flow of history

## ●● ●● ●● ●● ができる。

唐の長安にならってきた奈良の都。  
暮盤の目。天皇の住まいを中心に貴族、民衆の家、東西には  
市が開かれ、和同開珎などの貨幣が使われた。

遣唐使によって唐のすずんだ制度や文化がもたらされた。  
仕組みが整うと、税が集まり皇族や貴族の豊かな暮らしを支えた。



the flow of history

## ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●

班田収授法は税の負担が重く、逃げ出す農民が続出した。  
そこで聖武天皇は新しく開墾した土地は**私有地**にしてい  
いという法律をつくった。

しかし、これにより有力な  
豪族、貴族・寺社、農民だ  
けが開墾を進め、所有地を  
広げた。

この私有地のことを**荘園**  
と言う。



the flow of history

## 桓武天皇、京都に ●●●●をつくる。

聖武天皇は地震や疫病などの災いを、仏教に救いを求め、全国に国分寺や国分尼寺を建立、総本山の奈良・東大寺には大仏をつくった。

その結果強くなった仏教勢力から逃れるため、桓武天皇は京都に都を移す。

桓武天皇は農民の労役を減らし班田収授を強化。



## ●●●●氏 摂政となり権力を握る

他氏を排斥し、天皇の外戚になり、長い間権力を握り続けた。特に

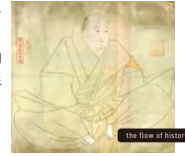
藤原道長は娘を天皇に嫁がせ、50年間摂政・関白をつとめた。



## ●●●●院政を始める。

頼通の娘に皇子が生まれなかったので摂関政治は途絶え、藤原氏の権力は失墜した。

170年ぶりに藤原氏を外戚に持たない後三条天皇が即位し政治を行った。受け継いだ白河天皇は14年間即位した後、白河上皇として42年間権力を握った。



## ●●●●が起こる。

後白河天皇方と崇徳上皇方に分かれ、衝突した。

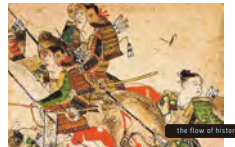
935平将門の乱、藤原純友の乱など力をつけていた武士がこどもも大きな力を発揮した。この乱をきっかけに「武者の世」に変わる。



## ●●●●が起こる。

保元の乱に勝利した後白河天皇は実権を握ったが、その後側近の信西と藤原信頼の対立によって引き起こされた政変。

平清盛が源義朝に勝利する。



## ●●●●太政大臣になる。

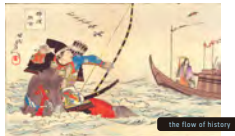
平清盛は後白河上皇の治世の元で全国の大半の荘園、公領を支配。「平氏にあらざらんば人にあらざ」と言われるほど栄えた。日宋貿易も盛んになった。



## ●●●●平氏を滅ぼす。

清盛の強引なやり方に不満をもつ人々が増え、源氏の勢力が徐々に広がった。清盛が高熱で亡くなった後、平氏は源氏に

壇ノ浦の戦いで滅ぼされた。



## 源頼朝が ●●●●を起こす。

御家人は封建制度で将軍から土地を与えられその代わり将軍に忠誠を尽くしいくさの時には戦った。(御恩と奉公)



## 後鳥羽上皇 ●●●●●●を起す。

源氏は3代で途絶え、後鳥羽上皇は朝廷の勢力を回復しようとして乱を起す。

頼朝の妻、北条政子に敗れ、後鳥羽上皇は島流しになり、その後北条家が幕府を動かした。幕府は京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視した。



## ●●●●できる。

武家社会となって初めての「武家のための法律」。

執権北条泰時は政治に合議制を導入、多くの人の意見を取り入れられるよう組織改革を行った。



## ●●●●襲来。

ユーラシア大陸に大帝国を築いていたモンゴル帝国が襲来。

元は文永の役、弘安の役の2度にわたり大船団を送り込んで日本を襲った。鎌倉武士は、国難を受け止め、よく戦った。元軍は暴風雨にも襲われ敗退した。



## ●●●●天皇、足利尊氏の力を借りて幕府を滅ぼす。

元との戦いで御家人は多くの犠牲を払ったが、十分な恩賞を得ることができなかった。そのため、武士は生活が苦しくなり、幕府への反発を強めていた。





後醍醐天皇、天皇制強化を目指すが2年で失敗。

武家の領土争いに介入したり、貴族の世襲制を否定して、双方から不満を生み出した。



## 時代、60年続く。

足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗、幕府政治再興の方針を示し、京都に新しい天皇をたてた。後醍醐天皇は奈良に逃れ、2つの朝廷がならびたつ事態となった。



## 3代目 南朝を合一する。

義満は征夷大将軍と太政大臣を歴任、**室町幕府**を築き上げた。また、明との貿易も活発になった(勘合貿易)。朝鮮、東南アジアとも貿易を開始した。蝦夷地との交易も始まった。



## の乱、11年続く。

義満の死後、幕府の権力は衰えた。8代将軍義政の後継を巡る争いに連動し、大きな勢力を持つ細川氏と山名氏が対立し、20万人を超える兵士が二手に分かれ争いは11年間続いた。

治安は乱れ、戦場の京都は焼け野原になり、将軍の権威が有名無実となった。



## の風潮。

大名の権力もしばしば下の者に奪われた。こうした身分が下でも実力で上の者に打ち勝つ風潮のことをいう。

山城国一揆では、武人を指導者に民衆が大名を追い出し、8年間自治を行った。一向一揆では一向宗の信者が加賀で100年近く自治を行った。

政府が全く機能せず、自分で守るしかなかったため、侍だけでなく農民から僧侶、庶民に到るまで全員が武装した。

がそれぞれ領国を支配、経営。民衆を従えた。

戦国大名は守りの固い山や丘に城を築き、周囲に家臣や商工業者を住ませ、城下町とした。

領国を豊かにするため、治水工事などで農業を盛んにし、鉱山の開発、商工業の保護、家臣の取り締まりなどに力を入れた。



## 、教伝来。

ポルトガルとスペインは国をあげて世界進出をはかり、キリスト教布教と貿易拡大のため、特にアジアを目指して盛んに活動していた。

この時期を**大航海時代**という。

世界有数の銀の産地だった日本から銀を仕入れ、火薬、時計、ガラス製品などをもたらした。

戦国時代だったので、鉄砲は新兵器としてたちまち全国に広がった。



## 足利義昭を京都から追放。

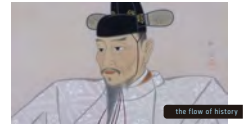
今川義元を破り頭角をあらわした。織田信長は武田勝頼の軍勢を打ち破り全国統一への道を切り開いた。信長は商工業者の自由な営業を認める楽市楽座の政策をとり、関所を廃止した。しかし、家臣の明智光秀に本能寺でそむかれ、自害した。



## 関白に。

秀吉は、いち早く明智光秀を討ち、関白になって全国の大名を次々に降伏させ、全国統一の事業を完成させた。**太閤検地**で各地の米の収穫高を調べ、記録。

これにより、荘園領主が持っていた権利は否定され、農民が大名に年貢を納めた。また、**刀狩り**で農民を耕作に専念させた。



## の戦い。東軍勝つ。

秀吉の死後、最大の実力者となった**徳川家康**は石田三成を初めとする西軍を破る。



## 江戸幕府を開く

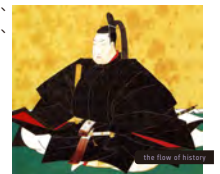
将軍の直属の家臣は全国石高の4分の1を支配。幕府は大名を、親戚からなる親藩、関ヶ原前から徳川の家臣であった譜代大名、関ヶ原後に従った外様に分けた。**参勤交代・武家諸法度**など幕府に服従させる仕組みをとつた。以降260年間、江戸幕府は続いた。



## 5代将軍

**生類憐れみの令**で、生き物の殺生を禁じた。

戦国時代の荒々しさも弱まり、また、綱吉は湯島聖堂を建て、儒学の普及につとめた。学問による統治(文治政治)をめざした。



## の政治

綱吉の時代に寺社の建築や修復で費用がかさみ、幕府は財政難に。次の6代家宣、7代家継を補佐したのが新井白石。

朱子学を重んじ、経済政策に着手したが好転しなかった。



## 徳川吉宗の改革

江戸はこの頃には産業も発展し、人口百万人を超える世界一の大都市となっていた。年貢をコメに依存している幕府は、他商品の流通が進み財政難になっていた。

8代将軍徳川吉宗は新田開発を進め年貢収入の増加につとめ、成果を上げた。また、目安箱も設置、庶民の意見を求めた。

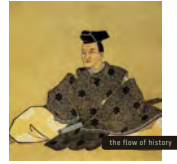


## の政治

吉宗とは逆に、商業・流通に着目して増収を図る。商人に利益の独占を認める

### 株仲間を

公認し営業税を納めさせた。しかし、賄賂が横行し批判を浴びた。噴火のため気候不順となり飢饉が起き、責任をとって辞任した。



## 松平定信の改革

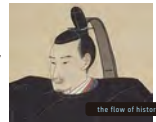
続いて任命された、老中松平定信は飢饉に備えてコメを貯蔵させ、資金を与えて、都市にいた農民に帰郷させ、穀物の生産を奨励した。また、武士には学問を奨励して教養を身につけさせた。6年間に渡り、改革は続けられた。



## 水野忠邦の改革

しばらく松平定信の政治が継承されていくが反動でゆるんだ雰囲気になり財政は悪化しだした。

水野忠邦は農民を農村に戻し、物価を下げるため株仲間を解散させ、倹約令を出した。2年しか続かず幕府の権威は傾いていった。同時期にアヘン戦争が起り、アジアに有威を与えることになった。忠邦は軍事力強化にも着手していた。



## が浦賀に来航

アメリカ、貿易船寄港地として日本を開国させるため、4隻の軍艦を従え来航。幕府は軍艦の威力に押されて、翌年回答すると約束。

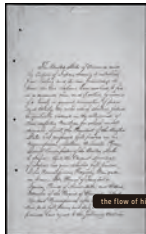
幕府、大名に意見を求める。再びペリーは7隻の軍艦を従え、再来航する。



## ついに開国、条約を結ぶ。

下田、函館の開港。

アメリカ総領事ハリスがさらに貿易を求め。幕府は反対する大名を抑えるため朝廷を巻き込もうとするが失敗した。

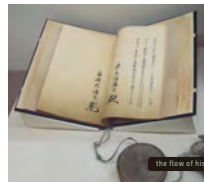


## 条約を結ぶ。

幕府は独断で神奈川、函館、長崎、新潟、兵庫の5港で自由貿易を認める。

領事裁判権、関税自主権がない、など不平等条約。

物価高など政情不安を引き起こした。



## の

大名、朝廷は幕府の独断を強く批判。大老の井伊直弼は安政の大獄で攘夷論を唱えた吉田松陰らを死刑に。

その後、井伊直弼は桜田門外ノ変で暗殺された。

さらに、下級武士が外国人を襲うなど、朝廷を押し立てて欧米勢力を排除しようとする尊王攘夷運動が盛んになる。



## 戦争起こる。

薩摩藩がイギリス人を殺した報復でイギリスが鹿児島を砲撃する。

長州藩も外国船砲撃。対抗してイギリス・フランス・アメリカ・オランダの4カ国の四国連合艦隊が下関を攻撃。

能力のない徳川幕府では、日本が外国の植民地にされると考え、ますます倒幕にすむ。



## 同盟 結ぶ。

尊王攘夷運動は長州藩が中心。朝廷と幕府が合体するべきとする薩摩藩らと対立していた。

欧米との戦争で実力差を自覚した2つの藩は、土佐藩坂本龍馬の仲立ちで、欧米に対抗できる政権をつくらうと、倒幕し天皇中心の政治を目指すために同盟を結んだ。



## 幕府、藩を攻撃

倒幕の動きに危機感を感じ幕府、長州藩を攻撃、洋式の軍隊で抵抗され撤兵。

開国と内戦のため、経済が悪化。さらに伝染病、地震や凶作も重なり社会不安が広がった。

民衆の世直し願望高まる。打ちこわしも相次ぎ、幕府はますます弱体化した。







### 政権を朝廷に返す

明治天皇即位。さらに薩長同盟中心に倒幕の動き高まる。  
第15代将軍徳川慶喜は新政府に参加する約束で政権を返す。  
薩長同盟中心の新政府は **王政復古の号令** を行った。  
これは天皇中心の政治にし、幕府を廃止する意味を持っていた。

慶喜は新政府の参加を認められず旧幕府領をすべて差し出すように命じられついに江戸幕府が滅びる。



### 戦争起こる。

慶喜の参加が拒否された不満から、旧幕府軍は1月に新政府軍と争いを起こす。旧幕府軍の抵抗は続いたが、翌年5月、函館の五稜郭で降伏。新政府軍のもとで国内は統一される。

4月には、新政府軍の西郷隆盛と旧幕府軍の勝海舟の交渉で江戸城の明け渡しが行われた。

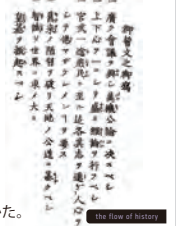


### 新しい政治の方針を示す

新政府は諸外国に新政府の成立や、これまで幕府が結んだ条約を受け継ぐことを通告。

幕末から明治の初めにかけての一連の改革を **明治維新** と言う。

人心を一新するため、年号を明治と改め、天皇、政府の役所も東京に置いた。



### 西洋列強に追いつくためのスローガン

近代化の基礎は教育改革と考え、

6歳以上の男女はすべて小学校に通うように定めた **学制**

全国統一の軍隊を作るための **徴兵令**

財源確保のための **地租改正**

近代産業の育成を目指した **殖産興業**

西洋の文化を取り入れる **文明開花** の風潮



### 常規を結ぶ。

鎖国していた朝鮮は、日本と不平等な条約を結ばされる。これは朝鮮と清国との宗属関係を否定することになった。

ロシアの南下を防ぐために朝鮮に進出しようとする日本。

何百年も朝鮮を属国にしてきた清との関係は悪化していった。



### 戦争起こる。

朝鮮では日本への米の流出の防止、官僚の不正、重税を追求した甲午農民戦争が起こったが、清に鎮圧を求めた。

一方で朝鮮を清から自立させるため日本は農民を支援したが、その後も居座り朝鮮の植民地化を狙った。対立した清とついに戦争に突入した。



### 遼東半島を手放す。

日本は清に勝利し、**下関条約**で朝鮮の独立を認め、賠償金を支払い遼東半島や台湾を日本に譲り渡した。

シベリア鉄道の建設、不凍港を求めて東アジア進出を目指すロシアは、ドイツ・フランスを誘って遼東半島返還を日本に迫った。

やむを得ず日本は手放した。



### 事件

日清戦争後、列強は清の各地を次々に植民地化し始めた。義和団を中心とした清の民衆は、外国人を追い出そうと清の軍隊とともに各国の公使団を包囲、日本、ロシアを中心とする8カ国は共同でしずめた。

ロシアは義和団事件後も満州にすわり遼東半島の軍事施設を強化。警戒した日本とイギリスは

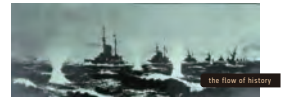
**日英同盟** を結び対抗した。



### 戦争

ロシアは清から撤兵せずさらに韓国にも軍事施設を建設。日本は外交で交渉しようとしたがまとまらず、ロシアの軍事拠点旅順を攻撃した。

日本は戦いを有利に進めたが、物資不足で戦争を続けるのが難しくなり、ロシアも革命で両国の国民生活が悪化したため、アメリカの仲立ちでポーツマス条約を締結した。



日露戦争で得た韓国での優越権をもとに、韓国を領有し朝鮮と改めた。

日本人と同じようにする同化政策が進められ、日本人の地主も現れ、朝鮮の農民の生活は苦しくなった。



### 勃発。

普仏戦争の遺恨を引きずったまま、勢力を拡大し、敵を増やしていったドイツ。それを阻止しようとするフランス・イギリス・ロシア。バルカン半島の利権争いをきっかけに第一次世界大戦が勃発。産業革命を経たこの戦いは今までと違い全国民を巻き込む総力戦へと発展していった。



### 条約を結ぶ。

同盟国（三国同盟側）、連合国（三国協商側）が次々と参戦した近代戦争は双方に破滅的な損害を与えた。

**アメリカ** が連合国側に加わり同盟国は相次いで降伏。この条約で戦勝国の要求を認めた。これによりドイツは多額の賠償金を負った。



## ●●●● 設立

大戦の反省から**国際協調の機運高まる**。  
国際社会の平和と安全を守ろうとし、設立。日本も参加。  
さらに**ワシントン会議**が行われ、軍備縮小の動き高まる。  
日英同盟が解消される。



## ●●●● 起こる

第一次大戦でアメリカは莫大な利益を得て、世界一の経済大国に躍進し、空前の好景気に沸いていた。  
しかし、ヨーロッパ経済が立ち直り、作りすぎによるモノもあまりはじめてくると、株価の大暴落をきっかけに世界的な不況が起きた。



## ●●●●●●●● 政策

ローズベルト大統領は公共事業を起こすなどして景気の回復を図る。  
本国と多くの植民地を持つ国々は他国の商品の締め出しを行った。



イギリス、フランスなど多くの植民地を持つ国々は**ブロック経済**で他国の商品の締め出しを行った。

## ●●●●●

日本、ドイツ、イタリアなどの貿易を閉ざされた国は経済がますます苦しくなった。  
ドイツのヒトラー、イタリアのムッソリーニなど、立て直しのために、軍力で領土を拡大しようとする独裁政治をすすめた。  
日本はアジアで独自の経済圏を求めた。



## ●●●●● 起こる。

軍は、日本も植民地を拡大するしかないとして、政府に無断で南満州鉄道を自ら爆破して、満州の大部分を占領した。国民もそれを支持した。  
政府は承認せず、不服とした青年将校は**五・一五事件**で首相の犬養毅を殺害した。



## ●●●●● 脱退。

国際連盟からの**リットン調査団**の結果をうけ、総会で満洲国を認められなかった日本は国際連盟を脱退した。  
その後、政府に不満を持った青年将校による**二・二六事件**が起こり軍部の発言力はさらに強まっていった。



## ●●● 戦争 始まる。

満州事変以後、満州を占領した日本は、さらに華北地方への侵略をはかった。これに対して、内戦をつけていた毛沢東らの中国共産党は蔣介石らの国民政府に内戦停止をよびかけ、**抗日統一戦線**を結成し、対抗した。  
北京郊外の盧溝橋で武力衝突が起こり、この戦争がはじまった。



## ●●●●●●● 制定される。

中国は、イギリス、アメリカ、ソ連などの援助も受けていたため、戦争は泥沼化。  
この法律により、政府は戦争のために必要な人や物資を自由に動員できるようになった。  
また、ほとんどの政党や政治団体が解散され、**大政翼賛会**にまとめられるなど国民の言論の自由がなくなっていた。



## ●●●●●●●● 始まる。

ファシズムによる政治を進める枢軸国側と、民主主義を守ろうとする連合国側との対立は深まった。  
ドイツはオーストリアやチェコスロバキアに続いてポーランドへ侵入。イギリスとフランスは対抗して宣戦し大戦は始まった。



## ●●●●● 包囲網

日中戦争が長引く日本は、中国に援助しているアメリカやイギリスの補給路を断ち、石油を確保するため、インドシナへの侵攻を始めた。  
さらに日本はアメリカの参戦を抑えるため**日独伊三国同盟**を結成。  
これに対しアメリカ、イギリスは日本への石油と鉄の輸出を止める。



## ●●●●●●● 勃発

アメリカに「日中戦争をやめ、満州を手放し三国同盟をやめる」という条件を突きつけられた日本はついにアメリカに宣戦布告した。  
最初は優勢だった日本だが、半年後にはアメリカの圧倒的な国力差の前に負け続けるようになった。



## ●●●●●●●●

東京空襲により10万人以上の犠牲者、沖縄上陸により12万人以上の県民が亡くなり、さらにとどめとして広島長崎へ原爆を投下されついに無条件降伏を要求する**ポツダム宣言**を受け入れた

